

環境部会

環境部会長(生11期) 菅田 忠志

生環1年生に環境教育プログラムを体験してもらいました

毎年、KSC 生環1年生のカリキュラムに、日頃我々環境部会が小学生の子供たちを対象に実施している「環境教育プログラム」を体験してもらう授業が組み込まれています。今年も去る10月14日にこの授業が実施されました。環境部会から、『里山グループ』『ピオトープの会』『野鳥と自然観察会』『エコ双六 KOBE』『ケナフの会』のみなさんから、日頃のイベントの内容を紹介し体験してもらいました。

この日は、午前中に里山観察、ピオトープ観察、野鳥観察、ケナフ紙すき体験を行い、午後は教室で事前に森や里山から集めておいた自然の素材を使って、“木の実・小枝工作”や“木の名札作り”“リース作り”などへの挑戦や、ホールでの“エコ双六”など、1年生のみなさんも童心にかえて、体験してもらい、我々がこどもたちに伝えたい「環境教育」の一端を感じ取ってもらえたものと思っています。「環境部会の活動が理解できた」「歳をとっていてもいろいろできることがあることがわかった」との感想も寄せられ、今から、あるいは卒業後は環境部会に入って頂き、我々と一緒に活動の輪を広げていただけるものと心強く感じた1日でした。



童心にかえて木の实工作



リースづくりにも挑戦



エコ双六にはたくさんのECOメッセージが…

在校生のみなさん “グループ わ” に一緒に活動しましょう。待ってますよ～。

市民参加の秋の森林浴ウォーキング 甲山森林公園で実施

春・秋に『森の仲間』が実施してきた市民公募の“森の魅力、森の恵みを森林浴ウォーキングを通じて感じよう”とはじめて3回目。今回(11月6日)は西宮市の北山緑化植物園から北山ダムを経て甲山森林公園内を歩くコースで楽しみました。



ゴールの甲山 神呪寺で

『しあわせの村開村20周年記念事業』

“市民探鳥会”を支援

平成20年11月23日(日)『しあわせの村 開村20周年記念事業』の一環として村主催の“市民探鳥会”が開かれ、“グループわ”本部と環境部会『野鳥と自然観察会』の仲間9名が支援。高齢者から子供達まで47名の市民が参加し、28種類の野鳥を観察できました。今回特に、参加者が感動したのは、堂坊池で3羽のカワセミが約10分間池の上の樹に止まったり、水面すれすれを飛翔したり、その「空飛ぶ宝石」と言われるコバルトブルーの美しい姿を堪能できたことでした。餌となる小魚が豊富な自然環境が残っているためで喜ばしいことです。



今回の探鳥コースは、芝生広場～鎮守の森～自然歩道～白川へ出て右折～伊川の源流～テントキャンプ場～堂坊池で約20分間観察～芝生広場へ戻るもので、約4KM、2時間かけました。

カワセミ以外の野鳥は、北国からの使者のジョウビタキ、ツグミ、ベニマシコなどの冬鳥やおオタカも観察できました。また、野鳥観察の途中春に約180羽のヤマガラやシジュウカラが巣立った巣箱を案内し、ヒナ達が外敵等に捕食され翌春までの生存率が10%未満と言う自然界の厳しさを参加者に説明しました。

今後も私達は野鳥観察とその保護活動を続け市民へ自然環境保護への理解を広め賛同者を増やしたく考えています。

(文責：“わ”「野鳥と自然観察会」)

世話人代表：茅中英一)